

広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書

記入日	2018 年 5 月 15 日
派遣プログラム	<input checked="" type="checkbox"/> HUSA <input type="checkbox"/> USAC <input type="checkbox"/> UMAP
留学先大学	南洋工科大学 (国名：シンガポール)
所属学部・学科等名	Economic
在籍身分	Exchange student
留学期間	2017 年 8 月 9 日～ 2018 年 5 月 14 日

1. 留学するまで

留学への志望動機・派遣先大学を希望した理由	日本の常識にとらわれず、視野を広げることによって将来選択肢を増やそうと思い留学を志望しました。南洋工科大学を志望したのはシンガポールという国に強い興味があったことと、世界でも上位に入るレベルの高い大学だったためです。
留学準備を始めた時期 (応募する何か月前ですか?)	応募する 3 カ月前くらいから準備をし始めました。しかしその前に TOEIC のスコアを上げていたことにより、比較的短い期間の準備で済んだほうじゃないかと思います。
事前準備について (どのような準備をしたか、しておけばよかったか)	語学試験の規定スコアをとったのはいいものの、その後全く英語に触れずに留学に来てしまい、まったくついていけませんでした。せめて映画やドラマを字幕付きで見るくらいしておけばよかったと思っています。

2. 渡航について

ビザについて	<p>ビザの種類：student pass</p> <p>ビザ申請先：学校でできます。</p> <p>提出書類：交換留学が決まると大学から必要な情報が送られてくるので、ネット上で完結しました。提出自体も学校がまとめてしてくれるので大丈夫です。</p> <p>手続きに要した日数：3 日</p>
その他必要な事前手続き	特になし
出国年月日	2017 年 8 月 9 日
経路(往路)	福岡—シンガポール
現地での出迎え	<input type="checkbox"/> 有 (大学関係者 ・ その他) <input checked="" type="checkbox"/> 無
到着後オリエンテーションの有無・期間・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (期間：2017 年 8 月 13 日 内容：授業の仕組みや保険に関して) <input type="checkbox"/> 無
帰国年月日	2018 年 5 月 14 日

経路（復路）	シンガポールーセブー福岡
--------	--------------

3. 留学費用について

支出額	総額		円
	内訳	渡航費（往復）	10万
ビザ申請手数料		2万	円
予防接種費用		1万	円
保険料		2万	円
教材費（授業料以外の学費）		1万	円
宿舍費（住居費）		25万	円
光熱費		0	円
食費		40万	円
通信費（インターネット・携帯）		2.5万	円
交通費（宿舍ー大学間）		0	円
交際費		80万	円
その他（ （ （ 費） 費） 費）			円 円 円

4. 授業・修学について

授業の概要について（カリキュラム，プログラム，履修した科目，時間数，履修形態等）	数学や公共政策（金融）、インベストメントなどを取りました。授業によって単位数や授業数も異なります。週 2 コマあって一コマが講義、もう一コマがグループワークみたいなものもありますし、日本と同じように講義のみのものもあります。
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
授業・勉強についてのアドバイス（留学前の履修，留学中，単位取得等）	授業形態にもよりますが、最低限リーディングの力(読む速さ)くらいはあげておかないと厳しいと思います。私は TOEIC リスニング満点の状態です。留学しましたが、最初は全くわかりませんでした。
日本と異なる授業形態などにおける困難や挑戦（ティーチングスタイル・先生と学生の関係性など）	とてもフレンドリーでした。講義の人数にもよりますが生徒と先生は交流します。

5. 生活等について

(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他（ ）

住居の広さ	約 20 m ²	同居人の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (1人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 台所 <input checked="" type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()		
住居費	1ヶ月当たり 300SGD	(現地通貨)	25,000 円
留学先での住居全般に関するアドバイス	日本人はシングルルームに住む学生が多かったですが、他国の学生と一緒に住むのも面白いと思います。		
(2) 医療について			
保険の加入先	<input type="checkbox"/> 本学指定の保険 <input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学指定の保険 <input type="checkbox"/> その他 ()		
保険の補償内容	補償額 死亡 円、入院 1日 円 その他 ()		
留学前後での予防接種の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 (種類: 回数: 医療機関名:) <input checked="" type="checkbox"/> 無		
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	病院に行かなかったのわかりません。		
留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	衛生面はほかのアジア諸国と比べ物にならないくらい良いです。季節も年間を通して安定しているので、寒すぎるエアコンなどにさえ気を付ければ風邪をひくこともないと思われます。		
(3) 危険を感じた地域, 状況, 安全管理において注意したこと			
シンガポールにおいて危険な地域はほぼありません。			
(4) 食生活についてのアドバイス			
シンガポール料理は脂っこい料理が多い気がしますが、基本的にどこの国の料理も食べることができるので問題ないと思います。ただ日本食は少し高いです。			
(5) 気候・服装についてのアドバイス			
前述の通り気候は常に安定していて (27度くらい)、宗教的な問題もないので、服装に関して特に気掛ける点はありません。おしゃれな服装をしている人はほとんど見かけないと思います。			
(6) 学内外の施設・設備環境について (インターネット環境含む)			
インターネットは基本的にどこでも早く、何も問題ありません。			
(7) 現地学生や地域との交流について (どのような、機会・きっかけがありましたか?)			
現地学生は授業やその他のパーティー等で知り合いました。地域との交流はフェイスブック上で見つけることができるとしています。			
(8) 習慣やマナーの違いによる対人関係等, 注意すべきこと			
シンガポールには世界中から人がくるのですが、特に問題を感じたことはありませんでした。			

(9) 日本から持っていくべきもの、持っていきべきでないもの
私は日本から衣服くらいしか持ってきていなかったのですが、他の学生は日本から薬を持ってきている人が多かったです。
(10) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス

6. 帰国後の進路について	
卒業予定年月	2020年 3月 (当初の卒業予定年月 2019年 3月)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input checked="" type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に)
現在の状況および今後の予定・進路等	一応就活はしますが、一年遅らせると思います。その際後期から次期の前期まで休学するので授業料はほかの学生と同じ4年分払うことになります。
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	就活をしようと思えば可能です(実際に友人たちは就活のために何回か帰国していました)。こちらに駐在している方もいるのでたくさんお話は聞けます。

7. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細(出版社, URL等)	コメント
dmm英会話		たくさん英会話の情報がありました

8. 後輩へのメッセージ
留学はとても楽しいです!そして、明確な目的を持って行けばとてもいい経験になると思いますが、留学に行けば勝手に何か変わるといったことはないと思います。お金も時間もかかるので、留学に行く前にしっかり一度理由を考えたほうがいいと思います!

9. 自由記述（1,200 字程度）

前期・長期休み・後期に分けてどのようなことをしてきたか報告させていただきます。

まず、前期に関しては「ザ・楽しい留学」というような生活をしていました。新しい環境、英語での生活など大変なこともありましたが、それも1カ月ほどで慣れました。シンガポールは日本よりも便利な点が多く、とても快適です。例えばUBERはもちろん、アジア版UBERのようなGRABというサービスもありますし、MRTと呼ばれる地下鉄はすごい頻度でかつかなり安く移動できるため重宝しております。また自転車や電動キックボードのシェアリングも行われており、とても便利です。交友関係に関しては、ルームメイトや最初に仲良くなったのがヨーロッパ人だったため、スイス・クロアチア・ドイツ・イタリアといったヨーロッパ人と一緒にいることが多かったのです。彼らとはお酒を通して楽しみながらも彼らとのコミュニケーションの取り方を知り、文化や価値観の理解できた良い経験だったと思います。授業においては”Public Finance”と”International trading”などのコースを取り学びました。特に、Public Financeでは、シンガポールの教育・年金・税制度などの勉強ができ、後述しますが資産運用の業界に興味を持つきっかけとなりました。

そして後期に入って、前期の反省を生かそうと私は主に二つのことを目標にして行動しました。

①アジア人の友達をたくさんつくる

②資産運用業界の人たちに話を聞きまくる

一つ目に関しては前期がヨーロッパ人とばかり遊んでいたため、シンガポール人を含むアジア人の友達が少なかったため、意識的に交流する機会を作っていました。おかげでシンガポール人はもちろん、韓国・中国・台湾・インド・マレーシア人の友達ができました。二つ目に関しては、前述のPublic Financeを受けて「お金」に興味を強く持ちはじめ、その中でも資産運用に惹かれ、金融国家シンガポールにいる利点を最大限に活用しようと思い、知り合いの方にたくさんご紹介してお話をする機会を作って様々な質問をしました。具体的にはアセットマネジメント One のシンガポール法人の高本さんやヘッジファンドのマネージャー、プライベートバンカー、PEファンドのセールスディレクター、個人投資家という方々とお話をさせていただきました。その結果、社会出る前に一度アナリスト業務をしてみたいと思い、ご紹介いただいた投資家のもとでインターンをさせていただけるようになり、日々奮闘中です。授業もそれに関連するような”Investment”や”Alternative Investment”という授業を取りました。前期とは異なり、後期は毎日誰かに会ったりインターンをしたり授業をしたりと忙しい生活が続きましたが非常に充実していました。



注1) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HUSA ホームページおよび広島大学ホームページへの掲載、事務室での閲覧や大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます（氏名及び学生番号については、非公開とします）。ただし、公開にあたり不適切と判断された内容については、国際交流グループにて削除等させていただきますので予めご了承ください。